全員協議会

９月４日、全員協議会が行われました。主な協議内容は次の通りです。

①浦河赤十字病院の経営支援について

・浦河赤十字病院は日高管内の中核病院として、救急外来・産婦人科・麻酔科の出張医経費に対し、各町が助成を実施。

・令和７年度決算では医療分で約７億円の赤字、うち救急外来・産婦人科・麻酔科で約２億円の赤字。

・令和８年度は管内町長会議で約２億円の助成を合意。浦河町は追加で約２億円超を単独助成し、総助成額は約５億円に。

・今後は浦河町・様似町・えりも町・新ひだか町の４町で協議継続。

・病院のサービス改善や患者対応、医師・看護師確保、町民の意見反映が課題。

助成額（浦河町が取りまとめて特別交付税を申請）　（単位：千円）

	合計	浦河町	様似町	えりも町	新ひだか町	新冠町	日高町	平取町
助成額	204,000	156,329	20,472	10,279	14,419	1,543	479	479
特別交付税	163,193	125,063	16,378	8,223	11,535	1,234	380	380
実質負担	40,807	31,266	4,094	2,056	2,884	309	99	99
負担率	100%	76.62%	10.03%	5.04%	7.07%	0.76%	0.24%	0.24%

※四捨五入により合計と内訳が一致しない項目あり

②今後20年間の財政収支見通しについて（今後20年間を目途とした財政シュミレーション）

・財政規模は50億円台で推移、単年度黒字を維持する見込み。

・基金残高は24億円から11億円まで減少、起債残高は最大１０３億円、公債費負担も増加。

・経営収支比率は10年後に最大96％まで上昇。

・物価、人件費、維持費の増加が財政圧迫要因。

・ダウンサイジング（インフラ・施設の縮小）、税外収入見直し、職員数削減、広域連携、自主財源確保（ふるさと納税等）が重要施策。



★行政運営・計画策定の課題

・計画策定やＰＤＣＡサイクルの実効性、議会・町民との十分な議論・審議の必要性が指摘。

・事業や計画の「棚卸し」や無駄な業務の削減、組織改編の必要性。

・産業振興、観光（ジオパーク等）では、実効性や成果、町外との比較、目標達成への具体策が求められている。

★その他の主な論点

・クリーンセンター（ゴミ処理施設）の維持費負担増、広域処理への転換検討。

・上下水道の区域縮小・広域化、公営住宅の集約、生活館等の統廃合。

・ふるさと納税の運用・外部委託、収入増加策。

・災害時の二次避難施設整備や財政負担の検討不足。

・新規プロジェクト（防災リゾート開発計画等）の概要計画。

③議会映像・配信システム事業、公募型プロポーザルの結果、及び審査委員会等について

④議会映像・配信について（現行規定等の運用）

これまでの経緯を再確認し、議会ユーチューブ配信に向けて詳細を協議、審査委員の選出や規定等の説明、録画放送期間等について細かく協議しました。今年度の配信開始を予定し、今後も協議を行っていきます。



早坂　拓二　議員



質問①

大災害時の準備として町内の井戸水の活用について

問　先日、９月３日、北海道新聞に、災害時の協力井戸が紹介されておりました。住民に登録を呼びかけて協力をお願いするという、様似町にとっても必要なことと思われる内容でした。そうした内容をふまえて、様似町の現状と今後についてお伺いいたします。

答　現在では、全国の市町村の約３割がこの取組を行っているとのことです。国による災害時の地下水利用のガイドラインも定められています。

本町としては、以前に他の議員からも、災害時の井戸水活用を提言されたこともあり、その可能性は認識していたところですが、具体的な検討には至っていませんでした。

町内での井戸水利用は７世帯とされています、日常使用しているその水を災害時に役立てるため、本町の水道管がほとんど耐震性を有していないということも踏まえ、町内の実態を把握する中で、浦河町の内容や、国のガイドラインなどを参考に、今後、町内における本制度の可能性を検討していきたいと考えております。

質問②

大通地区の街路灯の引継ぎの状況について

問　現在引き継いだ街路灯の総本数と現在の球切れの状況とＬＥＤ化の球交換の推移についてお伺いします。

答　大通り地区における、国道、沿線部分では、34灯のうち９灯球切れしております。

球切れ箇所につきましては、出来る限り対応して行きたいと考えております。

問　現在まで使われてきた街路灯を今後使わないっていうことでしょうか。

答　国道沿いのアーム型の街路灯はＬＥＤ化に交換する場合に予算の都合もありますので、電柱が側にある所は電柱に取付けていきたいというのが、今の担当としての考え方です。

問　大通地区で期待しているのは今までの街路灯をそのまま活用してもらってＬＥＤ化を想定していたのですが、町としての考えをもう一度その点の確認をお願いします。

答　街路灯の本体が古くなっておりますので、防犯灯に切替えていきたいというのが今の現状です。



質問③

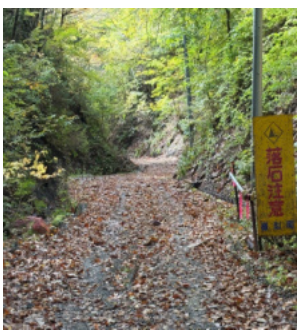
町道平宇線の奥の維持管理について

問　現在、普通自動車の通行が不自由な状況等もありますが、今後の改善予定をお伺いいたします。

答　町道の維持管理については、民間会社に業務委託し、日々の道路パトロール等を行う中で、道路橋梁等の危険な所を発見した場合は、その状況の報告を受け、対応するという流れで整備を行っているところです。御指摘の所は、砂利道の部分が、大雨のため、洗掘され、大きな水溝ができたもので、現地については、道路パトロールで委託作業員から報告を受け、担当職員も確認しており、道路保守作業を行う予定でしたが、対応が遅れ、未実施でありましたので、明日９月15日に保守作業を行う予定としております。

質問④

災害時の停電による、情報難民について



問　大通１丁目５階建ての公営住宅の状況で、災害時の停電による、情報難民についてお伺いします。大地震等による停電時に情報難民になる方が発生しております。テレビは停電で、ラジオは電波障害のため受信できず、携帯電話は持ち合わせてなく困っていると相談がありました。対応についてお伺いします。

答　停電時で情報がとれない状態が長く続く場合は、ご不便かとは思いますが、役場にお問合せいただくほか、団地内のお隣さんなどに教えてもらうなど、入居者さんの能動的な対応をお願いしたいと考えているところです。